

建築基礎向け高強度鋼管杭

JFE-HT590P

引張強さ 590N/mm²級、設計基準強度 F 値 440N/mm²

SKK490

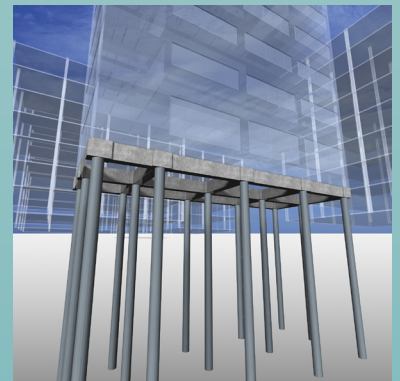
一般鋼管杭に比べ設計強度 35%UP

特長

■ 大きな曲げモーメントが発生する場合や軸力が卓越する場合に高強度鋼管杭を使用すると、少ない杭本数で同等の耐力を確保できます。

➡ 従来鋼管杭と比べ鋼材使用量を削減できます。

■ 杭本数減により、杭工事の工期短縮や施工コストの削減にも貢献します。



SKK490

JFE-HT590P

一般鋼管杭から高強度鋼管杭に置き換えると



φ1200, t=28



同等の耐力



φ1200, t=22

重量
21% 減

溶接量減

運搬・揚重減

**CO2
削減**



集合住宅 [8 階建] の杭頭部を従来鋼管杭から高強度鋼管杭に置き換えた場合

杭長：13.5m 本数：46 本

上杭 (4.7m)：φ1200mm×t28mm [SKK490]→φ1200mm×t22mm [JFE-HT590P]

下杭 (8.8m)：φ1200mm×t20mm [SKK490]→φ1200mm×t20mm [SKK490]

[鋼管杭] (410-374) t×1,900kg-CO₂eq/t / 14kg-CO₂eq = 4,988 本

50 年スギ炭素貯蔵量：14 kg-CO₂/本 / 年として換算 (林野庁 HP：森林の二酸化炭素吸収力より)

カーボンニュートラルに必要な杉



JFE スチール 株式会社
建材技術部 土木技術室

TEL:03-3597-4469
FAX:03-3597-3825

土木製品
サイト

